

子育て支援センターの愛称を募集



令年度
町民活動推進
補助金事業を募集

令和元年11月1日から新しくオープンした石坂巻子記念子育て支援センターの愛称を募集します。



▼応募方法

応募用紙に記入のうえ、役場、国府支所、子育て支援総合センターまたは子育て支援センターに直接お持ちいただくか、郵送でご応募ください。

応募用紙は役場、国府支所、子育て支援総合センターまたは子育て支援センターにあるほか、町ホームページでもダウンロードできます。

▼締切り 4月30日（木）

※当日消印有効

問・申子育て支援センター

☎ (61) 4150

町民の皆さんが自らの意志で社会的な様々な課題に主体的に取り組む町民活動を応援する、町民活動推進補助金事業の募集を行います。

補助内容や対象の経費など詳しくは、別に配布する「募集案内」をご覧ください。

また、申請書を提出後、申請団体による事業内容のプレゼンテーションを実施し、補助金等評価委員会の審査を受けることになります。

▼昨年度の交付決定事業

「マコモの里大磯作り」、「大磯竹あかり」、「学生英語ボランティア」

問町民課 ☎ 内線237

▼募集期間 4月1日（水）～4月20日（月）

▼申込み方法

協働係へ提出 所定の申請書等を町民課町民

▼募集案内・申請書等配布場所

本庁舎町民課窓口、国府支所、町ホームページ

▼申請書類提出前に書類確認をさせていただきます

書類の書き方や、内容確認のため提出前に必ずご相談ください。

（4月13日（月）まで要予約）

セーリング競技とは？

GO TO 東京オリ・パラ
2020 Vol.25

東京2020大会では、7月26日（日）から8月5日（水）まで、江の島ヨットハーバーにて、セーリング競技が開催され、約350人の出場が見込まれています。

大磯町とセーリング競技との関係は、1964年の東京オリンピックまでさかのぼります。その当時に、大磯プリンスホテルがヨット競技の選手村となったことが契機となり、今大会においては、セーリング競技の選手村として利用されることが決定しています。

セーリングのオリンピックにおける歴史は古く、1900年の第2回パリ大会から実施され、1996年アトランタ大会までは「ヨット」と呼ばれましたが、2000年シドニーワールドカップから現在の「セーリング」が競技名となりました。

ヨットはオランダで発祥し、輸送や連絡などの実用目的で活用されたのちに、スポーツとして欧米諸国に広まりました。

ルールは、1人または2人乗りの小型ヨットで、海上に設置されたコースを回り順位を競うものです。

潮の流れや風の強さなどを操るダイナミックなパフォーマンスが魅力の一つです。

問政策課 ☎ 内線229



ヨット (1964年撮影)
提供:藤沢市文書館

令和2年度の開業をめざし、大磯港賑わい交流施設の整備を行っています。
この施設で販売する農水産物や加工品の出品を希望する方は、ぜひお申込みください。

▼応募条件
(次のいずれかに該当)
①町内で生産・収穫される農水産物を提供できる方
②町内で農水産物等の加工を行っている方
③町内に事業所がある事業者

え、持参またはFAXで提出。
▼提出先
産業観光課みなし推進係（大磯港湾管理事務所内）またはFAX (61) 5719
※申込書は、産業観光課窓口のほか、ホームページからダウンロードできます。
※申込書の情報は指定管理者に提供させていただきますので、ご承知ください。

申込書に必要事項を記入のう

問産業観光課

☎ (61) 5719

大磯港賑わい交流施設で販売する農水産物・加工品を随時募集中！



▲プレゼンテーションの様子